



福島県内経済情勢報告

令和6年1月

財務省東北財務局
福島財務事務所

目次	ページ
1. 総論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】 「県内経済は、持ち直しつつある」

項目	前回(5年10月判断)	今回(6年1月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→

(注)6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが弱含んでいるなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回(5年10月判断)	今回(6年1月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

2. 個人消費 … 緩やかに持ち直している



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、米飯等が堅調となっているものの、酒類が低調となっていることから、前年並みとなっている。
- (3) ドラッグストア販売額は、医薬品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、除雪用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、パソコン等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、受注残の納車が進んだことから、前年を上回っている。
- (7) 旅行は、国内が好調となっているほか、海外に動きがみられることなどから、持ち直している。

～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○年未年始は、コロナ禍前と同様に大人数向けのオードブルや寿司が好調となった。
○気温が高く推移していることから、コートなどの衣料品の売上げは例年より伸び悩んでいる。
○物価高による節約志向は引き続きみられており、値ごろ感のあるプライベートブランド商品が人気となっている。

(百貨店・スーパー)

○販売促進効果に加え、気温が高く推移したことにより行楽需要が引き続きみられ、おにぎりや飲料の売上げが増加している。
○酒類は、より安価な販売店で購入する様子がみられ、低調となっている。

(コンビニエンスストア)

○マスクを外す機会の増加により風邪が流行したことなどから、風邪薬等の医薬品が好調となっている。
○物価高による節約志向が引き続きみられるなか、食料品の値上げ幅を抑えていることや、販売促進を強化していることから、来店客数が増加している。

(ドラッグストア)

○今冬は降雪量が少ないことから、除雪用品が低調となっている。
○11月中旬以降は気温が低下したことから、ストーブなどの暖房器具のほか灯油の売上げが伸びている。

(ホームセンター)

○パソコンは、巣ごもり需要の反動等により、低調が続いている。
○消費者の関心が旅行等に移っていることや、物価高により家電購入の優先順位が落ちていることなどから、来店客数が減少している。

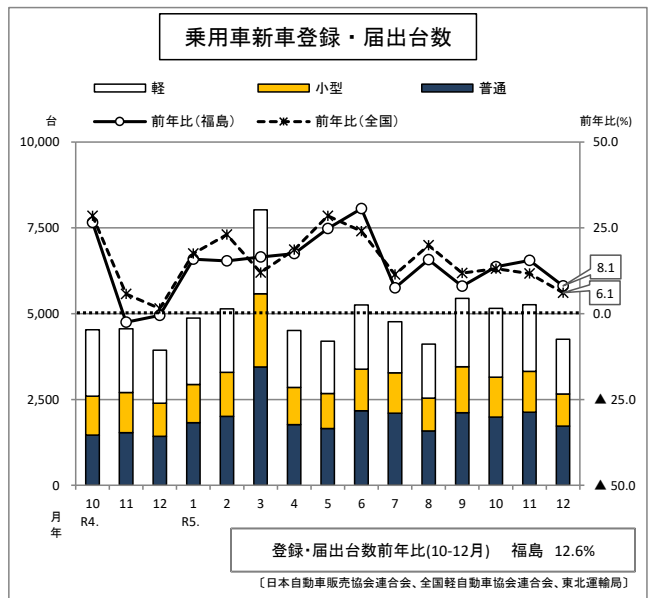
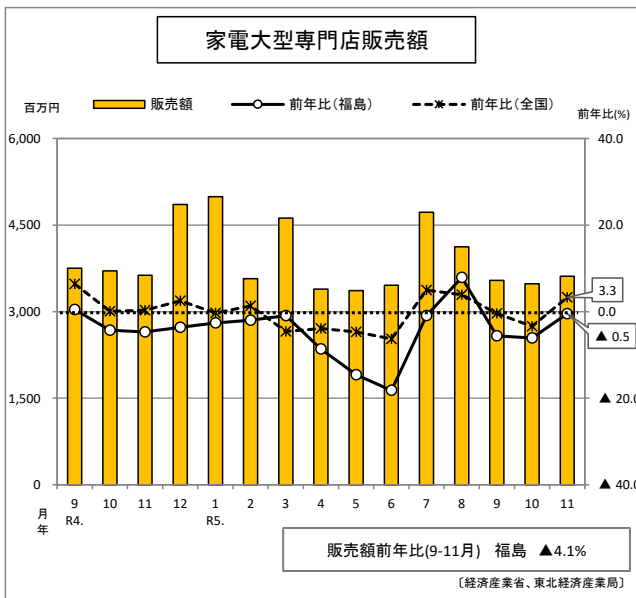
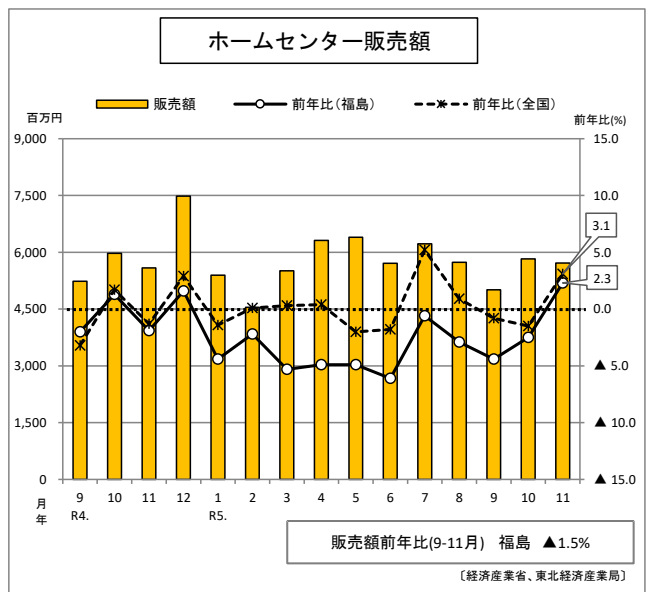
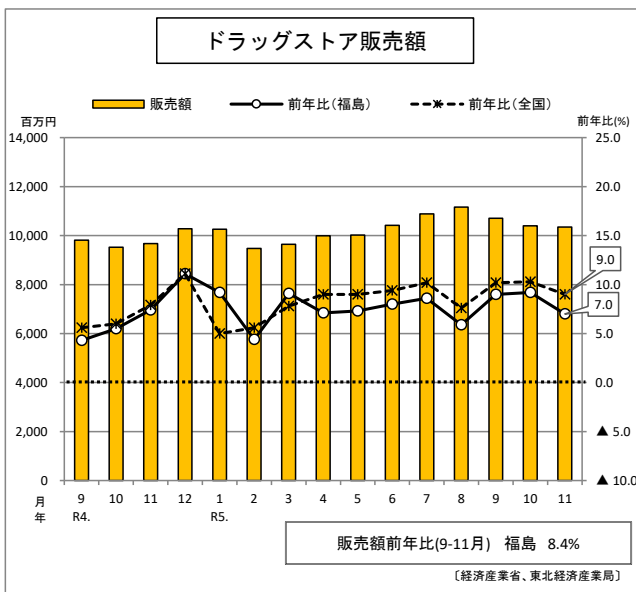
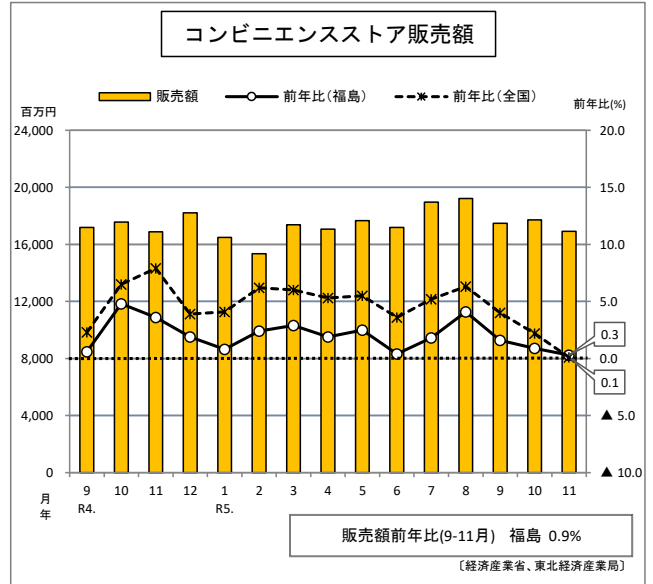
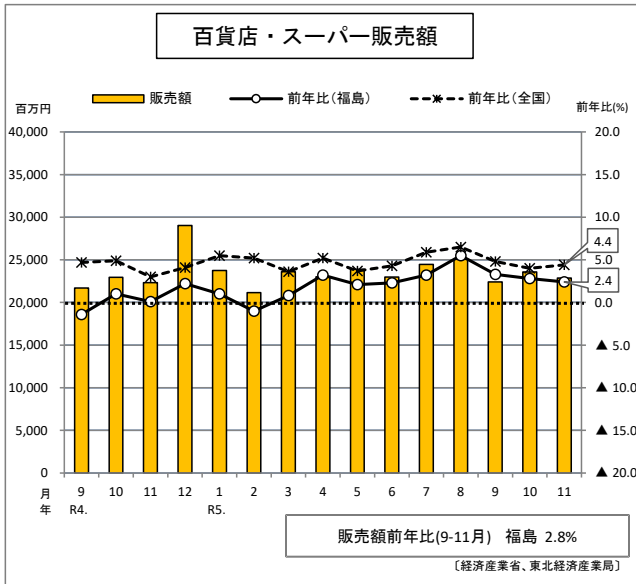
(家電)

○自動車の生産台数が増加していることから、納期の長期化が緩和され、受注残の納車が進んでいる。
○新型車を中心に受注は好調となっている。

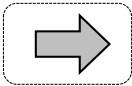
(自動車販売)

○コロナ禍で旅行を控えていた反動により、国内旅行では旅行意欲の高い状況が続いているほか、台湾や韓国を中心に海外旅行にも動きがみられる。
○物価高により旅行代金が値上がりしているものの、旅行控えはなく、料理等にこだわった高価格帯の旅館の予約も好調となっている。

(旅行)



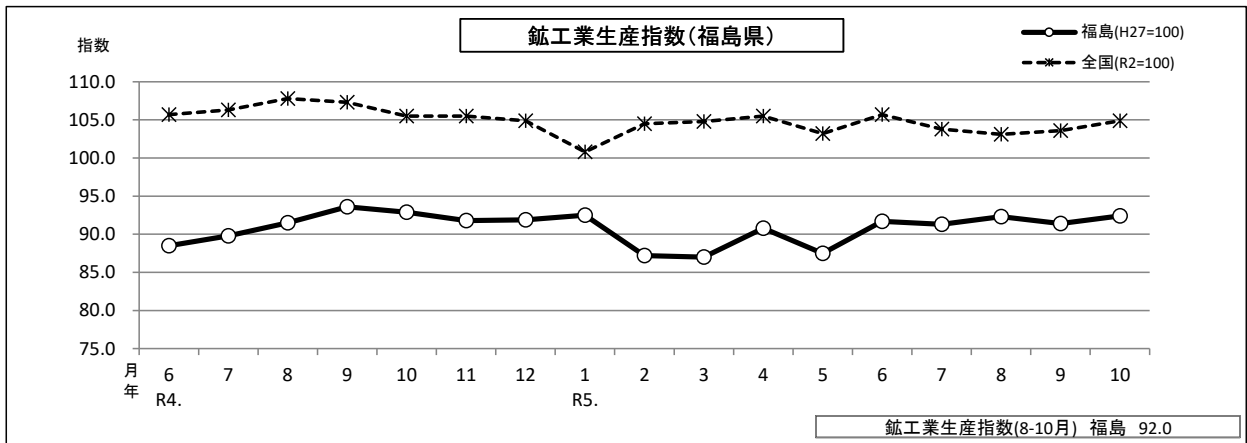
3. 生産活動 … 一進一退の状況にある



- (1) 汎用・生産用・業務用機械は、自動車向けなどが堅調となっているものの、中国向けの動きが鈍化していることなどから、一進一退の状況にある。
- (2) 輸送機械は、半導体不足の影響緩和等により、緩やかに回復しつつある。
- (3) 化学は、電気自動車需要の高まりなどにより、増加している。
- (4) 情報通信機械は、海外経済の減速等を背景に足踏みの状況にある。
- (5) 電子部品・デバイスは、スマートフォンやパソコン向けが低調となっていることから、弱含んでいる。

～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

- 自動車向けは、欧米向けを中心に引き続き堅調となっている。
- 生産用機械向けは、中国経済の減速や半導体市況の低迷により、受注・生産とも低水準が続いている。
(汎用・生産用・業務用機械)
- 半導体等の部品不足の影響はほぼなく、受注残の解消に向けフル稼働となっている。
(輸送機械)
- 電気自動車向けは、足下では中国や欧州での需要に一服感がみられることから、小幅な生産調整を行っているものの、中長期的には需要の増加を見込んでいる。
(化学)
- 車載向けは、完成車メーカーの生産回復により受注増加を見込んでいたものの、欧米向けの受注が伸び悩んだことなどから、前年を下回っている。
(情報通信機械)
- スマートフォンやパソコン向けの需要低迷が続いていることから、前期より稼働率を下げている。
(電子部品・デバイス)

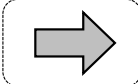


鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、H27=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		汎用・生産用・ 業務用機械	輸送機械	化学	情報通信 機械	電子部品 ・デバイス
	指数	前年比%	1,353.9	1,170.5	1,101.7	932.6	885.6
4年	89.1	0.9	85.7	89.1	120.4	35.5	111.2
4. 10-12	92.2	-	87.1	104.5	126.3	47.0	106.7
5. 1-3	88.9	-	84.1	95.3	123.9	49.0	92.5
4-6	90.0	-	86.6	111.5	124.5	42.5	102.6
7-9	91.7	-	85.7	123.7	126.9	44.7	96.7
5. 5	87.5	2.3	82.0	108.1	114.1	44.1	103.0
6	91.7	3.7	91.8	122.0	126.5	41.0	101.5
7	91.3	1.8	81.7	126.0	126.0	54.8	97.8
8	92.3	0.8	91.4	119.5	127.6	46.2	95.8
9	91.4	▲ 2.4	84.0	125.7	127.0	33.1	96.6
10	92.4	1.3	82.3	137.4	129.1	39.1	100.2
5. 5-7	90.2	-	85.2	118.7	122.2	46.6	100.8
5. 8-10	92.0	-	85.9	127.5	127.9	39.5	97.5

(注) 1. 前年比は原指数。
 2. 最終月は速報値。
 3. 4年分は年間補正後。
 4. 5. 5-7、5. 8-10は今回の分析上参考とした期間。
〔福島県〕

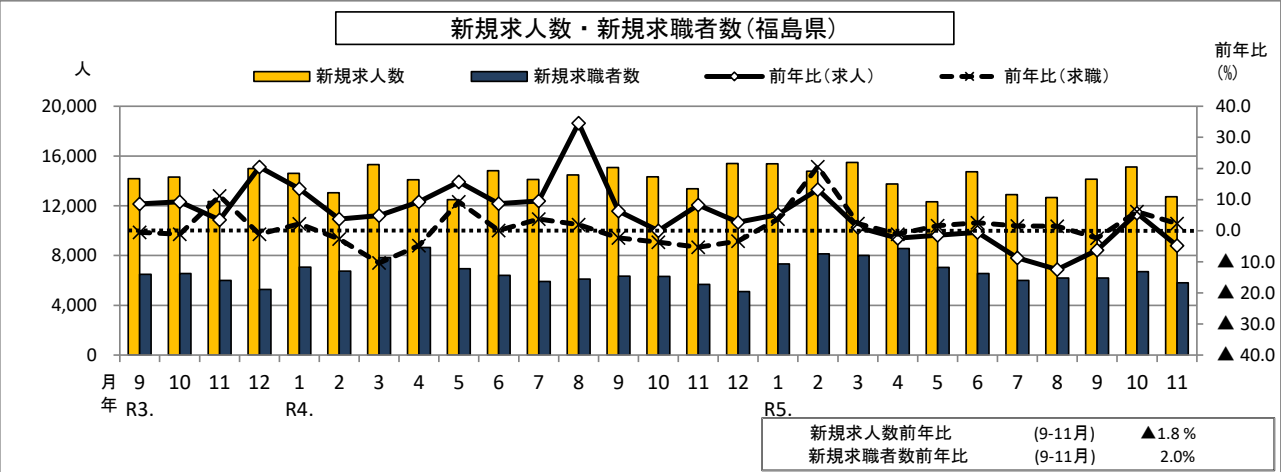
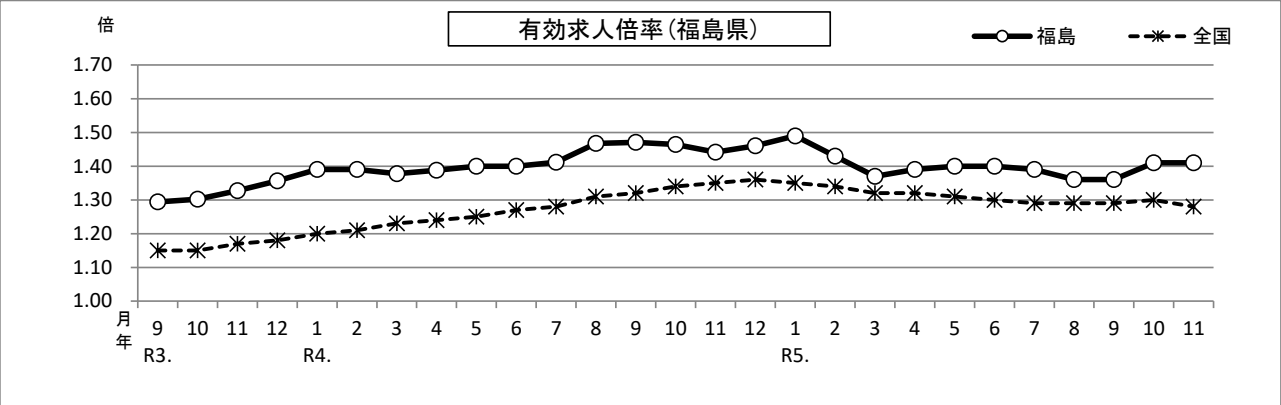
4. 雇用情勢 … 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している



- (1) 有効求人倍率は、横ばいとなっている。
- (2) 新規求人数は、建設業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ 参考 ～

- 業種を問わず企業の人手不足感は強いものの、物価上昇に伴う経費の増加を背景に求人を見合わせる動きがみられる。
(公的機関)
- 生産水準の高まりを背景に人手不足感が強まっているため、賃上げや労働環境の改善、民間の人材紹介業者の利用など、人材確保に向けて試行錯誤している。
(製造業)
- 外食需要は回復しているものの、コロナ禍で離職した従業員が戻らず、店舗によっては時短営業や休業を余儀なくされている。
(非製造業)

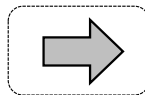


雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済)	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
	倍	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
4 年	1.42	14,259	9.1	6,593	▲1.7	5,167	▲7.9	6,219	▲3.8
4. 10-12	1.46	14,358	3.5	5,700	▲4.2	993	▲13.0	5,922	▲5.4
5. 1-3	1.43	15,206	6.2	7,827	8.5	1,127	▲6.6	5,484	▲6.3
4-6	1.40	13,600	▲1.5	7,391	0.8	2,026	7.7	5,914	▲3.9
7-9	1.37	13,228	▲9.1	6,130	0.1	1,014	▲6.6	6,642	▲4.4
5. 6	1.40	14,737	▲0.5	6,565	2.5	455	8.1	6,358	▲6.1
7	1.39	12,888	▲8.7	6,008	1.5	313	▲32.3	6,622	▲2.4
8	1.36	12,668	▲12.5	6,189	1.4	345	27.8	6,879	▲6.0
9	1.36	14,129	▲6.3	6,194	▲2.4	356	0.6	6,424	▲4.6
10	1.41	15,122	5.6	6,697	6.1	558	49.6	6,441	3.3
11	1.41	12,720	▲4.8	5,813	2.3	427	23.8	6,140	3.6
5. 9-11	-	13,990	▲1.8	6,235	2.0	1,341	25.1	6,335	0.6

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。
 3. 4年12月以前の有効求人倍率は改定値。
 4. 5. 9-11は今回の分析上参考とした期間。
 [厚生労働省、福島労働局]

5. 設備投資 … 5年度は減少見込み



法人企業景気予測調査（5年10-12月期調査）でみると、5年度は、製造業、非製造業とも減少見込みとなっている。

設備投資

(前年度比増減率:%)

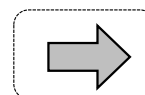
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	(10.1)	▲ 4.9	(▲ 13.9)	▲ 5.1	(▲ 8.6)

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. ()書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(5年10-12月期調査)」]

6. 企業収益 … 5年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（5年10-12月期調査）でみると、5年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	(11.9)	10.7	(▲ 3.3)	▲ 1.9	(3.8)

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

2. ()書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(5年10-12月期調査)」]

7. 企業の景況感 … 現状は「上昇」超に転じている
 先行きは6年1～3月期に「下降」超に転じ、
 6年4～6月期に「上昇」超に転じる見通し



法人企業景気予測調査(5年10-12月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(10~12月)は、全産業では「上昇」超に転じている。
 先行きは、全産業では6年1~3月期に「下降」超に転じ、6年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

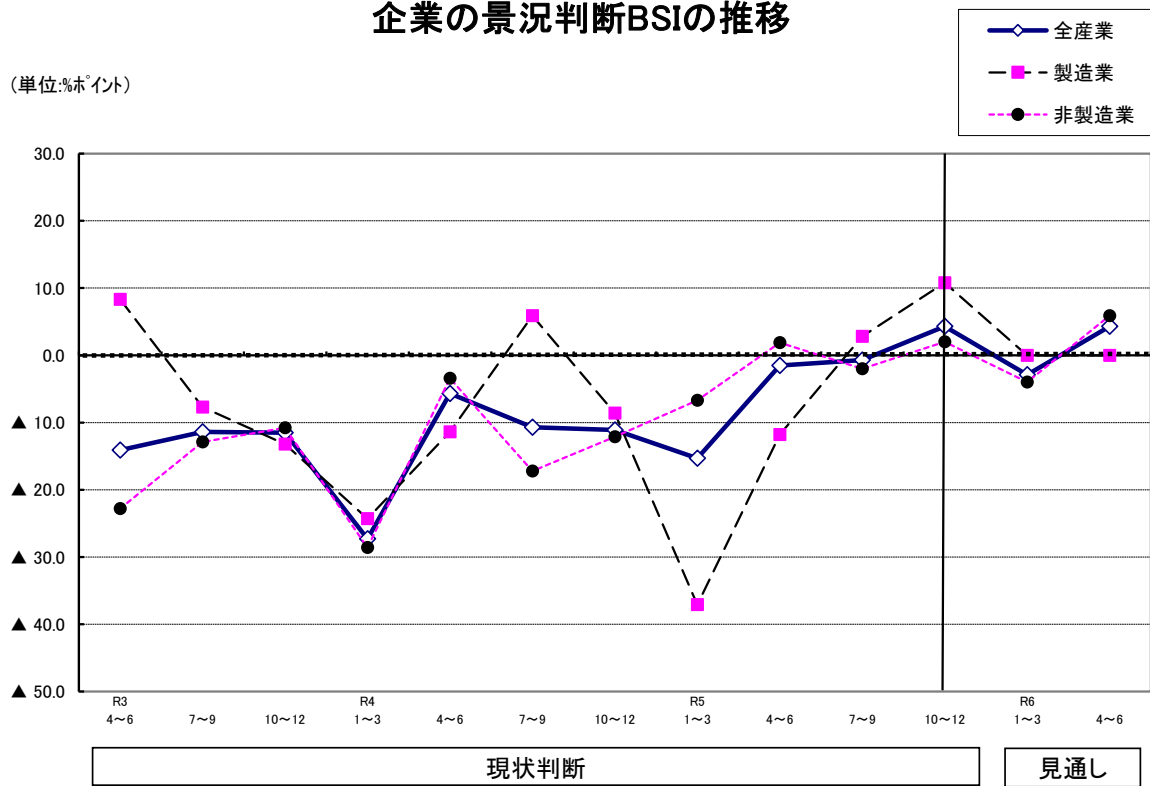
区分	5年7~9月 (5年7-9月期調査)	5年10~12月 現 状 判 断		6年1~3月 見 通 し		6年4~6月 見 通 し
全 産 業	(▲ 0.7)	(3.6)	4.3	(▲ 5.1)	▲ 2.9	4.3
製 造 業	(2.8)	(22.2)	10.8	(2.8)	0.0	0.0
非 製 造 業	(▲ 2.0)	(▲ 2.9)	2.0	(▲ 7.8)	▲ 4.0	5.9

(注) () 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(5年10-12月期調査)」]

企業の景況判断BSIの推移

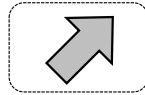
(単位:%ポイント)



BSI (Business Survey Index) の計算法

$$*BSI = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比})$$

8. 住宅建設 … 前年を上回っている

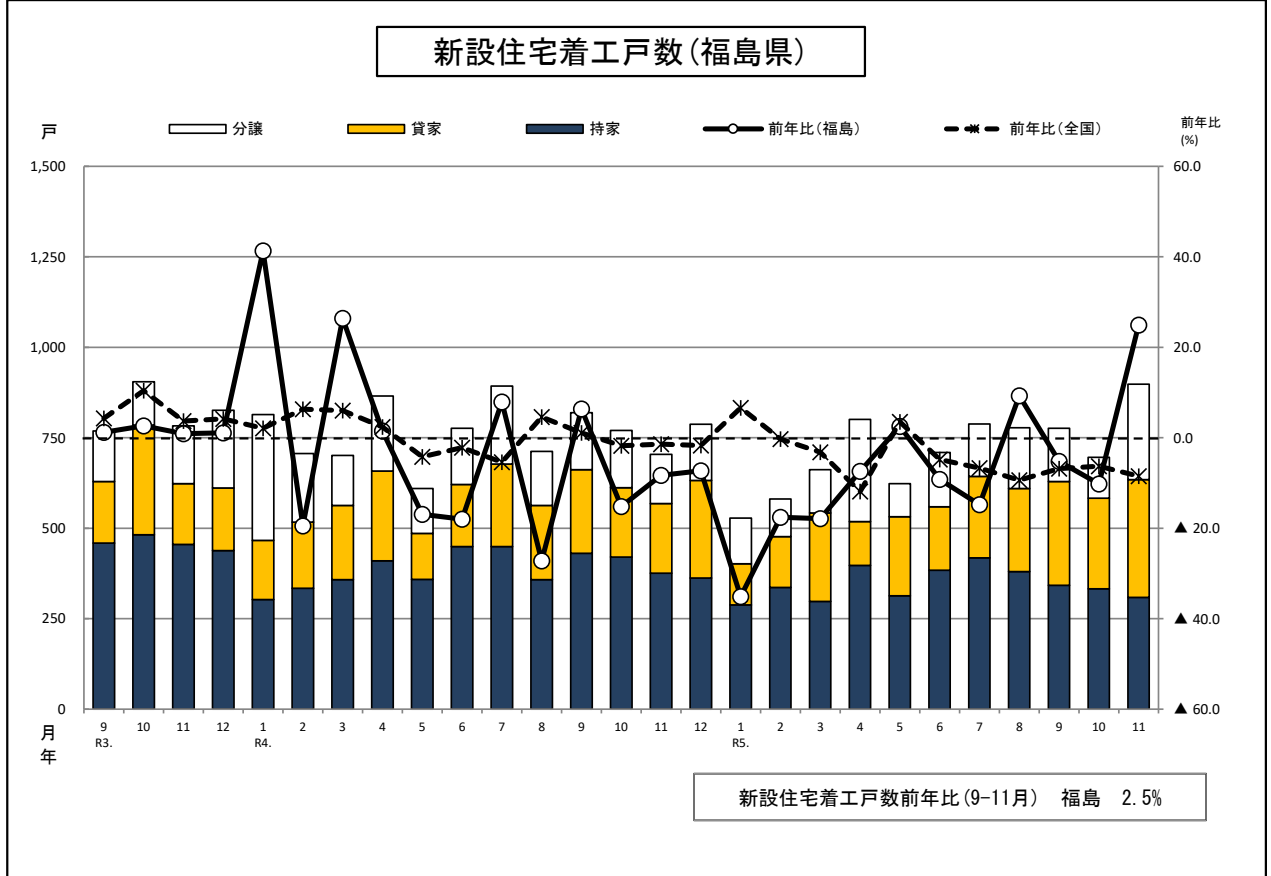


新設住宅着工戸数でみると、持家が前年を下回っているものの、貸家、分譲が前年を上回っていることから、全体としては、前年を上回っている。

～ 〈参考〉 住宅建設に関する地域の声 ～

○資材価格の高止まりや人件費増加に伴う住宅価格の上昇を背景に、注文住宅、分譲戸建住宅の受注は低調となっている。

(住宅建設)



新設住宅着工戸数(福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%			
4 年	9,330	▲ 4.7	▲ 13.9	▲ 5.3	17.5
4. 10-12	2,284	▲ 10.4	▲ 15.8	1.6	▲ 9.3
5. 1-3	1,776	▲ 23.8	▲ 7.3	▲ 9.4	▲ 48.1
4-6	2,135	▲ 5.4	▲ 10.2	▲ 5.9	7.8
7-9	2,344	▲ 4.6	▲ 7.9	11.7	▲ 11.9
5. 6	709	▲ 9.2	▲ 14.5	1.7	▲ 3.2
7	789	▲ 14.8	▲ 6.9	▲ 1.3	▲ 32.9
8	778	9.3	6.1	12.2	12.8
9	777	▲ 5.2	▲ 20.6	24.2	▲ 6.4
10	696	▲ 10.2	▲ 20.7	30.2	▲ 28.5
11	898	24.9	▲ 17.8	69.3	94.1
5. 9-11	2,371	2.5	▲ 19.8	40.2	16.2

(注) 5. 9-11は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

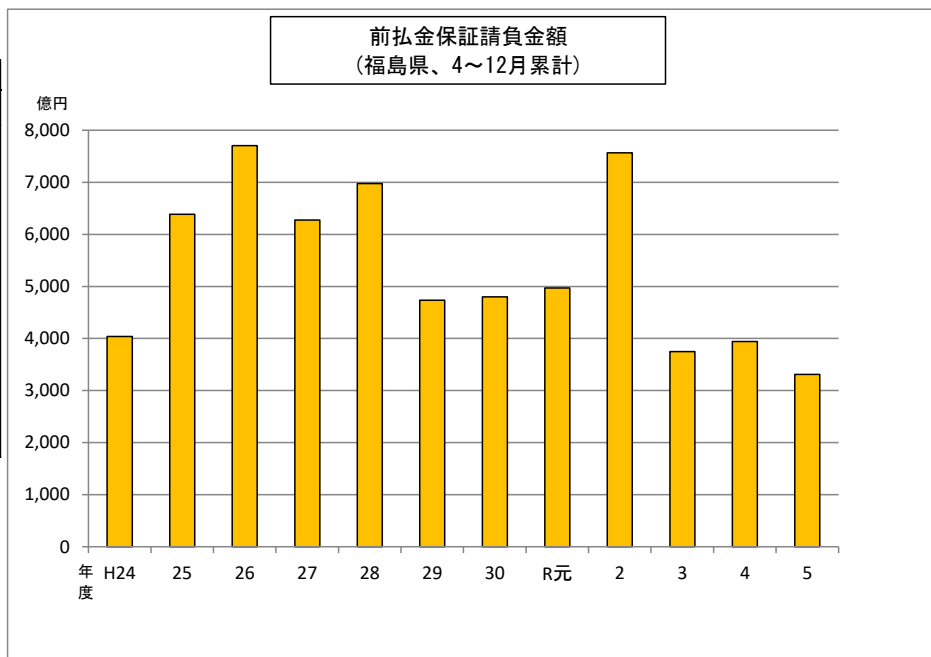
9. その他項目

(1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を下回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4~12月累計)		
区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年同月比%
24 年度	4,038	140.4
25 年度	6,388	58.2
26 年度	7,703	20.6
27 年度	6,277	▲ 18.5
28 年度	6,975	11.1
29 年度	4,735	▲ 32.1
30 年度	4,800	1.4
元 年度	4,970	3.5
2 年度	7,564	52.2
3 年度	3,749	▲ 50.4
4 年度	3,944	5.2
5 年度	3,311	▲ 16.0

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

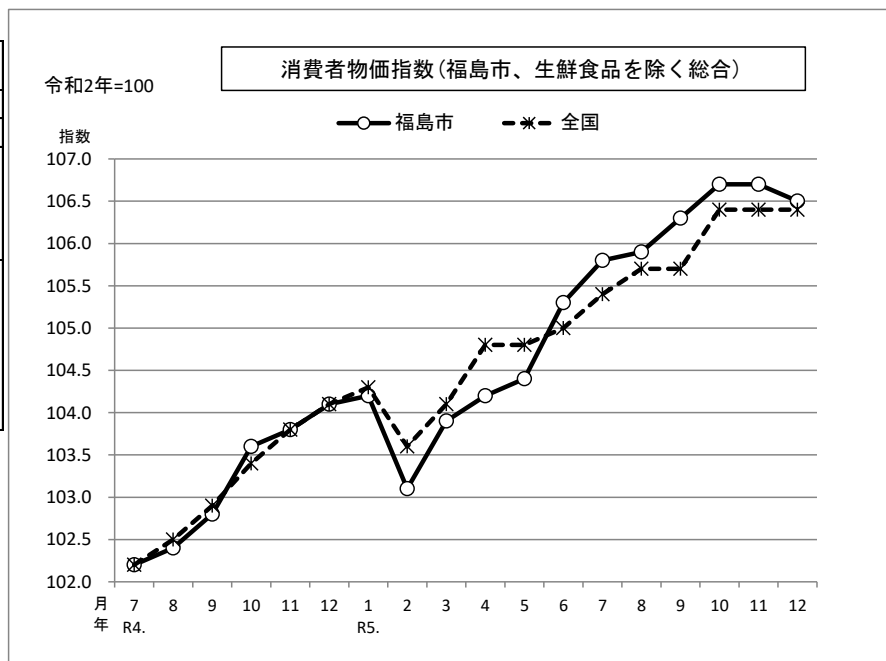


(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)		
区 分	福 島 市	
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	指 数
5 年	105.3	3.1
5. 1-3	103.7	3.3
	104.6	3.0
	106.0	3.4
	106.6	2.7
5. 7	105.8	3.6
	105.9	3.4
	106.3	3.3
	106.7	3.0
	106.7	2.8
	106.5	2.3

〔総務省〕



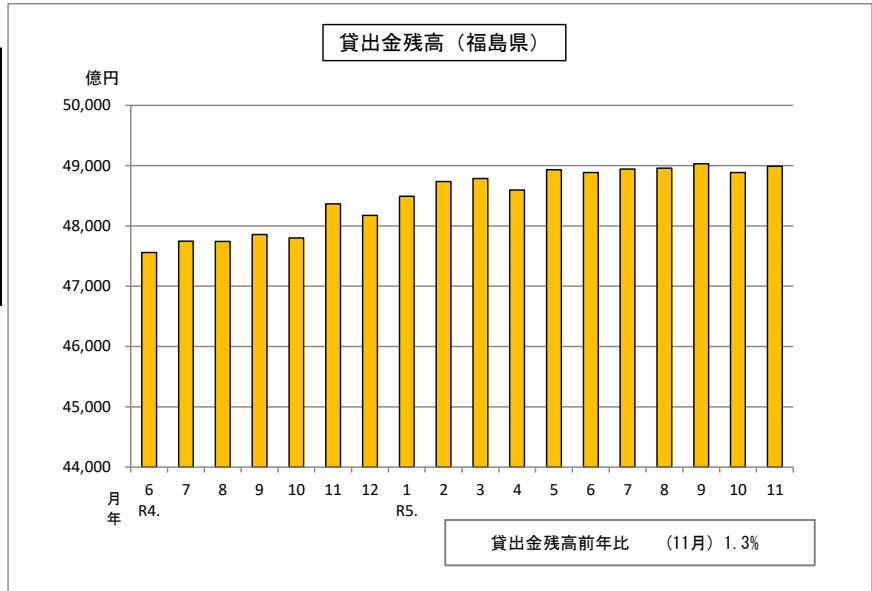
(3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区分	貸出金	
	件数	月末残高(億円)
5.	4	48,595
	5	48,934
	6	48,886
	7	48,942
	8	48,960
	9	49,030
	10	48,888
	11	48,989

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(全店分)ベース
 なお、銀行については、オフショア勘定及び
 中央政府向け貸出を除く。
 [日本銀行福島支店]



(4) 企業倒産

件数は前年を上回っており、負債総額は前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区分	件数		負債総額	
	件数	前年比%	百万円	前年比%
5 年	80	21.2	13,526	8.4
5. 1-3	18	5.9	3,821	43.5
4-6	22	69.2	4,118	111.2
7-9	14	▲ 6.7	1,340	▲ 60.3
10-12	26	23.8	4,247	▲ 5.6
5. 7	7	▲ 12.5	413	▲ 80.5
8	5	0.0	704	▲ 25.6
9	2	0.0	223	▲ 28.1
10	6	▲ 40.0	898	▲ 17.8
11	6	0.0	733	▲ 73.2
12	14	180.0	2,616	291.6

[(株)東京商工リサーチ]

